



クレア本部

～ティラー・アンダーソン記念碑への献花～

石巻市内で外国語指導助手（ALT）として活躍し、東日本大震災の津波で犠牲となった米国出身のティラー・アンダーソンさん＝当時 24 歳＝を追悼するために 2023 年 4 月 16 日に石巻南浜津波復興祈念公園の一角に記念碑が設置されました。

2023 年 5 月 19 日、記念碑への献花のためクレアを代表して南光院常務理事・倉持経済交流課長が現地を訪れました。途中降っていた雨が、現地に到着する頃にはすっかり止んで薄日が差ししてきました。ティラーさんが、私たちを優しく迎え入れてくださったのだと強く感じました。

公園の入り口近くにあるティラーさんの記念碑は祖国アメリカの角を向いて静かに建っていました。私たちは、ティラーさんの笑顔の写真と「Live Your Dream 夢を生きる」という文字が刻まれた記念碑にティラーさんへの追悼と感謝の気持ちを込めて献花をいたしました。



ティラーさんの記念碑近影



記念碑への献花の様子

ティラーさんは、1986 年に米国バージニア州で生まれ、大学卒業後の 2008 年に「日米の懸け橋になりたい」という志をもって JET プログラムの ALT として来日し、石巻市内の 7 つの小中学校で英語教育に従事され児童からも大変慕われていました。大震災の地震発生直後に市立万石浦（まんごくうら）小学校の児童を避難させた後、自転車で帰宅する途中で津波の犠牲となりました。

震災後に設立された NPO 法人「ティラー・アンダーソン記念基金」（共同代表：ティラーさんの父アンディさん、藤崎一郎さん（元駐米大使））が石巻市内の小中学校を中心に「ティラー文庫」と名付けた本棚と書籍の寄贈を続けられ、現在日米で約 30 か所に設置されています。こうした活動は被災地支援を通じた日米間の交流促進にも大きく貢献しており、ティラーさんの遺志を実現しているものです。

記念碑の設置された石巻南浜津波復興祈念公園は、津波とその後が発生した火災の延焼により 500 人以上が犠牲となった南浜地区約 38.8 ha を転用し、追悼と震災の記憶や教訓の伝承・発信を目的に整備されました。園内には津波伝承館をはじめ多くの施設もあり、ティラーさんを含む犠牲者の皆様のお名前が記された石巻市慰霊碑も建立されています。

津波伝承館で主任解説員をされている三浦さんは、元中学校の教員でティラーさんと一緒に仕事をされたご経験をお持ちでした。三浦さんの「ティラー先生には大変よくやっていただいた。記念碑ができたときは涙が出るほどうれしかった」というお言葉が心に残りました。

今回、記念碑の献花の後に関係先を訪問し、ティラーさんが地元の皆様にいかに愛され、感謝されていたかを知りました。ティラーさんのような ALT がおられたことをクレアとして誇りに思うと同時に、JET プログラムの意義を再認識いたしました。

今回の記念碑往訪に当たっては、宮城県の復興・危機管理部復興支援・伝承課および商工観光部国際政策課に大変お世話になりました。改めて御礼申し上げます。特に、現地に同行いただいた復興・危機管理部復興支援・伝承課：伊藤主幹兼企画員および商工観光部国際政策課：廣澤主査のお二人の親切なご対応に深謝いたします。

津波伝承館で展示内容の詳しい説明をいただいた三浦主任解説員ほか皆様に感謝いたします。

また、お忙しい中、お話を聞かせていただいた石巻市復興企画部の岡部長ほか皆様に御礼申し上げます。

最後に、今回の訪問のためにさまざまな情報提供をいただきました株式会社阪神阪急ビズネストラベル 宮崎様にこの場をお借りして御礼申し上げます。



石巻南浜津波復興祈念公園（奥が津波火災の震災遺構、市立門脇小学校）



津波伝承館での説明の様子



シンガポール事務所

ベトナムで岡山県津山市の「こけないからだ体操」

クレアシンガポール事務所は、2023年4月13日から16日までの4日間、岡山県津山市がベトナムで実施したタイビン省での体操指導やベトナム保健省でのセミナーなどに同行しました。

津山市は、市内の介護予防事業として実施していた「こけない^(※)からだ体操」を、JICA（国際協力機構）を通じて2018年からベトナムでの普及に取り組んできました。

今回、ベトナム保健省で開催されたセミナーでは、津山市とベトナム各省の代表から活動取組や健康寿命の延伸による成果、体操によるコミュニティの活性化などが報告されました。

セミナーの最後に、ベトナム保健省人口家族計画総局のグエン・ドワン・トゥ局長の挨拶で「急速な高齢化は喫緊の課題であり、引き続き介護予防事業を継続していく。津山市には今後も指導をお願いしたい」との発言があり、当事業に対して大きな期待が寄せられているようでした。

(※)「こけない」とは、「転ばない」の方言



ベトナム保健省でのセミナーの様子



こけないからだ体操に取り組む参加者



シドニー事務所

パース日本祭りに出展しました

2023年3月25日、オーストラリア西部の都市パースで、9回目のパース日本祭りが開催され、前回の2021年から倍以上となる1万6,000人以上の来場者が、お好み焼きやラムネなどの日本食ブースや、茶道や着物などの体験ブースを楽しんでいました。

また、会場内には3つのステージが設置され、BIG STAGEでは太鼓や三味線などの演奏やダンスが、MARTIAL ARTSでは空手や少林寺拳法などの古武道が、YAGURAでは浴衣を着たパフォーマーのダンスや盆踊りが披露され、来場者はそれらを鑑賞しながら思い思いにブースを周遊していました。

クレアシドニー事務所のブースでは、JETプログラムの案内のほか、パースや西オーストラリア州の自治体と関係のある日本の自治体の観光PRを行いました。用意したパンフレットが開場2時間程度で無くなるほど多くの方に訪問いただきました。今回の出展では、日本への旅行相談を受けるなど、日本への観光に関する現地の生の声を聞く良い機会となりました。

今回得た現地の声を活かし、引き続きオーストラリアにおける効果的な日本の自治体の観光PRを続けてまいります。



クレアシドニー事務所のブース



イベントのフィナーレとして披露された盆踊り



ソウル事務所

2023 日本留学&就職フェアに JET ブースを出展しました！

2023年5月13日・14日の2日間、ソウル特別市内のCOEXで開催された「2023 日本留学&就職フェア」に、クレアソウル事務所とJETAA 大韓民国支部（JETプログラム経験者で構成されている組織）の共同で、JETプログラムの紹介ブースを出展しました。

会場には、日本の高校・大学・専門学校および企業がブースを構え、日本への留学・就職に関心のある韓国人が数多く来場しました。

中学生から日本での就職を目指す社会人まで、幅広い層の日本へ関心を寄せる韓国人を対象にJETプログラムの紹介を行う中で、「将来JETプログラムへの参加を目指して、日本語の学習を続けていきたい」「JETプログラム終了後のキャリアアップの事例は、日本での継続的な就職を目指す上で非常に興味深い」など嬉しい声をいただきました。

今後もさまざまなシーンで、幅広い層にJETプログラムの紹介を行っていくことで、韓国国内でのJETプログラムの認知度向上に努めていきます。



来場者の質問に答えるJETAAのメンバーたち



北京事務所

中国の自治体職員協力交流事業参加者が日本各地へと旅立ちました！

2023年5月20日、北京市において、「自治体職員協力交流事業（LGOTP）」に参加する4名の壮行会を開催しました。

壮行会では、外交部およびクレア北京事務所が参加者に対して、激励の言葉を送り、事業参加者代表として、大分県に派遣される劉氏が力強い抱負を述べました。その他、事業参加者が日本での仕事や生活について尋ねる姿や本事業実施に対する感謝の言葉を述べている姿も見受けられ、日本での交流に対する意欲的な気持ちをうかがうことができました。

「自治体職員協力交流事業」参加者は、今後、それぞれの専門分野で半年以上にわたり、日本の各自治体で働くこととなります。

今回の派遣で、日本の自治体のノウハウ、技術などを習得することを通じて、日中両国の地方自治体の発展に貢献するとともに、日中両国の友好の架け橋となることを期待します。



壮行会参加者全員での記念写真



パリ事務所

パリ日本文化会館での「男はつらいよ」最終話上映に合わせて自治体をPR！

2023年3月25日、パリのエッフェル塔近くにあるパリ日本文化会館において、「男はつらいよ」シリーズの最終作「お帰りの寅さん」が上映されました。同会館では、2022年から2023年にかけて「男はつらいよ」シリーズの全作品を上映しており、最終作の上映となった今回は161名が来場しました。会場では、上映の前後に、クレアパリ事務所の職員が、日本酒の試飲提供を行うジェトロパリ事務所の職員と共に、日本の自治体のプロモーションを行いました。

同会館が日頃から日本文化の発信を行っていることもあり、来場者の中にはリピーターも多く、「浜辺のあのシーンが撮影されたのはどこの都市か」といった質問のほか、「同作品を全て観たが、どれも日本の美しい風景が印象的だ」などの意見が寄せられるなど、映画のストーリーのみならず日本に対する関心の高さがうかがえました。

クレアパリ事務所では、今後も在仏の日系機関と連携協力しながら、フランスの方々に効果的に日本の地方の魅力を伝えてまいります。



日本の自治体のプロモーションを行う様子



日本酒の試飲イベントで賑わう会場の様子



ニューヨーク事務所

「ジャパンパレード」「ジャパンストリートフェア」が開催されました

「ジャパンパレード」「ジャパンストリートフェア」が、在ニューヨーク総領事館のほか、多くの日系法人で構成される非営利団体 Japan Day Inc. の主催により、2023年5月13日にニューヨークのセントラルパーク西側の公道を開放して実施されました。

2007年から続く当事業はコロナ禍に一時休止したものの、2022年度に再開され、今回は昨年の2.5倍に当たる約5万人の観客が訪れ、おみこしやアニメなどの日本文化や日本食を楽しんでいました。

日本の政府関係ブースでは、日本政府観光局（JNTO）、東京観光レップと並び、当事務所もブースを設けて日本各地の魅力をPRしました。中長期の日本旅行を具体的に計画する人が多く訪れ、インバウンド観光の復調を実感しました。



会場を埋め尽くす来場者



ロンドン事務所

デンマークの日本イベント「サクラフェスティバル」に初出展し日本の文化・食をPR

2023年4月22日・23日、コペンハーゲンで日本文化発信イベント「サクラフェスティバル」が開催され、クレアロンドン事務所として初めてブース出展しました。来場者のお名前をひらがなとカタカナで書いて差し上げる書道パフォーマンスは大変好評で、ブース前には多くの親子連れや友人同士のグループなどの行列ができていました。また、食を通じた地域魅力の発信として、日本各地のご当地グルメレシピを紹介するWebページの周知に取り組んだところ、レシピに対する評判は上々で、デンマークにおける日本食への関心の高さがうかがえました。



ブースの様子

JET プログラム事業部

「KenJETkai (ケンジェットカイ)」で JET プログラム経験者とのつながりができます！

JET プログラムを終了した JET プログラム経験者が、任用されていた都道府県ごとの単位で活動する Facebook のグループ「KenJETkai」が、近年多数活動を始めています。

JET プログラム経験者は、日本との懸け橋として世界中で活躍しており、世界各国・地域の同窓会として JETAA を組織しています。そして、それらをつなぐ国際的な組織として「JETAA-I (JETAA International)」があります。それぞれの「KenJETkai」は、JETAA-I の Facebook のグループにリンクされています。

「KenJETkai」には現役の JET プログラム参加者や自治体職員はもちろん、JET プログラムの関係者であればどなたでも気軽に参加することができ、JET プログラム関係者が相互につながる場となっています。2023 年 5 月現在で 43 都道府県、総計 4,848 名が参加しており、JET プログラム経験者への観光 PR や人材の活用など、世界中にいる JET プログラム関係者間のさらなる連携強化につながっています。自治体にとって広報や連携のフィールドが広がる可能性がありますので、活用を検討されてみてはいかがでしょうか。



KenJETkai の公式 Facebook ページより

経済交流課

2023 年度第 1 回海外経済セミナー「アメリカの食品市場における現状と販路拡大のヒント」を開催しました！

2023 年 6 月 8 日にオンラインで開催した今回のセミナーでは、「食品」という観点からアメリカ市場の基礎知識から最新事情や、現地スーパーにおける商品トレンド・PR 時のポイントなどを交え、アメリカ市場への販路開拓をテーマに、以下の方にご登壇いただきました。海外販路開拓業務の実践的な手法を含む内容となり、各自治体の担当者実践に移すための着眼点やノウハウを学ぶ絶好の機会となりました。

○独立行政法人日本貿易振興機構 (JETRO) ロサンゼルス 米国輸出支援プラットフォーム 事務局長 木村恒太氏

○日本食文化振興協会 (JFCA) 事務局長 二見義之氏 (※氏名は登壇順)

また、2023 年度のクレア経済交流課事業の紹介も行い、積極的な活用も呼びかけました。ご講演内容の動画、使用資料など、本セミナーの詳細な内容については、クレアホームページ (<https://economy.clair.or.jp/activity/seminar/>) をご覧ください。



セミナー当日の様子

多文化共生課

多文化共生ポータルサイトや SNS をぜひご活用ください！

クレア多文化共生課では、多文化共生に関連する情報をまとめたポータルサイトを運営しています。

国の情報・法令、統計情報ははじめとして、全国の自治体・地域国際化協会・市区町村国際交流協会などの各窓口や多文化共生プランの策定状況などの各地域の基本的な情報をまとめているほか、先進的な取り組みや多文化共生に資するツールの紹介、有識者によるコラムの連載も行っています。そのほか、多文化共生課の Twitter・Facebook でも随時、多文化共生関連情報を発信しています。

多文化共生に関する情報収集や施策立案のご参考に、ぜひご活用ください。

多文化共生ポータルサイト：<https://www.clair.or.jp/tabunka/portal/>

Twitter：https://twitter.com/CLAIR_tabunka

Facebook：<https://www.facebook.com/tabunka.clair/>

■お問い合わせ

多文化共生課 Tel：03-5213-1725 Mail：tabunka@clair.or.jp



多文化共生ポータルサイト

交流親善課

第 24 回日中韓 3 国地方政府交流会議を「山梨県」で開催します！

「日中韓 3 国地方政府交流会議」は、歴史的、地理的にも密接な関係にある日本、中国、韓国の 3 国地方政府間の国際交流・協力を一層促進することを目的に、毎年、3 国の国際交流機関が輪番で開催している会議です。

4 年ぶりの対面交流となる今回は、2023 年 10 月 16 日 (月) から 19 日 (木) の日程で「日中韓地方政府による、未来を見据えた地域づくり」をメインテーマに、基調講演や主旨講演、3 国の自治体などによる講演やパネルディスカッションのほか、山梨県内の視察を行います。

多くの自治体などが一堂に会し、交流できる貴重な機会ですので、ぜひご参加ください。

会議の詳細や参加登録の方法などは、クレアのホームページ (<https://www.clair.or.jp/j/exchange/chiiki/index.html>) をご覧ください。